

ふるさとを愛し、こころ豊かで たくましい児童の育成



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
防府市立 向島小学校	向島小学校学校運営協議会 平成24年5月1日 指定	地域学校協働活動推進員 1名 0名 地域コーディネーター 0名 0名	—



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本校の児童は、豊かな自然とあたたかい地域に生まれ、のびのびとした優しい子に育っている。全学級複式編成の極小規模校で、ふるさとへの愛着を深め、将来、何らかの形でふるさとを支え、関わり続けることは、地域の強い願いでもある。また、中学進学時に大規模校へ進学することへの不安も大きく、児童のコミュニケーション能力や、他者と協働する力、困難を乗り越えやり抜く力、それらを下支えする学力については、本校の課題でもある。

目標や目指す姿(学校)

夢を持ち、夢をかなえる学校 冒険とチャレンジのある学校

目標や目指す姿(地域)

学校を舞台につながる人の輪 感謝と憧れを生む大人の姿
子どもの育ちにそれぞれの立場で責任を持ち、互いに尊重し合う地域



向島小学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|--|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 | <input type="checkbox"/> 自治連合会 |
| <input type="checkbox"/> 民生児童委員・主任児童委員 | <input type="checkbox"/> 公民館 |
| <input type="checkbox"/> 保育園 | <input type="checkbox"/> 保護者 |
| <input type="checkbox"/> 学校支援ボランティア | など、計 21 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 教職員 | 年間平均 5 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

子どもの育ちを支え、地域の活性化も視野に入れながら、プロジェクト制による運営を行っている。学校運営協議会委員を主体とすることで、委員の参画意識も高く、実効性のある取組につながっている。また、全ての教職員が各会に参加し、部会に所属して協働して取り組むことで、教職員がコミュニティ・スクールのよさを実感する格好の機会となっている。

近年、学力向上や児童の学校運営への参画について課題としてあがっており、随時、子どもの状況に沿った新たな視点を協議事項に盛り込むことで、取組のアップデートにつながっている。



特徴的な取組と成果・効果

取組

学校運営協議会

上記の課題について、継続的・発展的かつ、新たな体験的な取組が必要と考え、既存の3プロジェクトに加え、学校運営協議会委員全員参加型の「田んぼプロジェクト」を実施することとした。指導者や田の選定、具体的な作業内容や日程について協議し、地域学校協働活動推進員にも助言を求めながら、横断的に関わることとした。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

1年から6年までの全ての児童が、田植えや稲刈り、脱穀等を体験した。田植え時は、参観日も兼ね、地域住民や保護者、教職員、市教委担当指導主事も参加し、ともに活動した。また、収穫後も餅作りや地域の食材を生かしたおこわ作り、販売、配布等へと活動が発展し、年間を通じたダイナミックな活動となった。



田んぼプロジェクト

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

単に活動ありきではなく、活動の目的やめざす子どもの姿について、全ての参加者が共有していることが大切であると考え、様々な機会や手段を用いて周知を図った。また、子どもだけでなく、地域住民や保護者等、活動に参加したものの全てが、準備段階も含めて、やりがいや達成感を感じることができるよう、あくまでも主体を地域に委ね、事前の意識付けやプログラムの在り方、事後の取組を意識して活動を組み立てた。実施後は、学校運営協議会で振り返りを行い、次年度に向けての申し送り事項等を共有した。

成果・効果

【成果について】

令和3年度学校評価アンケート(後期)より ※数値は肯定的評価率

児童:「学校は楽しい」100%、「地域の行事は積極的に参加している」94%

保護者:「楽しく学校に通っている」100%、「地域の行事や奉仕活動に積極的に参加している」86%、

「教職員と保護者の連携がとれている」100%

教職員:「児童は楽しく生活している」100%、「校外での体験活動など、幅広く学習する機会が多い。」100%

上記の結果からも、本校の強みの1つである豊かな体験活動が、潤いのある学校生活や地域意識の向上につながっていることがうかがえる。「田んぼプロジェクト」では、教科等の学習内容に加え、実感を伴った学びを通して、ふるさとへの新たな気づきももったり、地域の方々への感謝の心が育ったりした。また、大人についても、計画や準備段階から嬉々として取り組む姿を目にして、質の高い1つの子どもの活動が、周りの大人がさらにつながりを深め、広げていき、地域コミュニティの再生にもつながると感じた。

【課題について】

本校の場合、学校運営協議会委員に公民館長を充てている関係で、地域学校協働活動推進員は運営協議会の構成員ではない。今後、さらにコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化を推し進める上でも、推進員の会への所属は必須な要件であると考えられる。